

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 117 回例会 2023 年 8 月 22 日

●例会場 宮崎大学地域デザイン棟

会長 明石 良 副会長 水光正仁 幹事 梶田竜司

■会長の時間 明石 良 会長



今後のスケジュール

10月13～15日 地区大会(シーガイア)

10月21日 「海岸美化プロジェクト」
(オルブライトホール)

10月24日～11月2日 アフガニスタンコロキウム
展示(宮崎大学図書館)

10月28日 池ノ上ガバナーからの「ポリオ活動」
への参加依頼

(広報・公共イメージ部門長 田村香代子氏が中心
となっている)

10月29日 「アフガニスタンの現状」コロキウム
Part 2 (宮崎大学 330 記念交流会館)

12月20日 難病の子供たちとその家族(ヤングケ
アラー)を通して知るその苦悩

～ヤングケアラーの抱ける夢ってなんだろう。お
互い弱さに気づき合える社会に～(場所未定)

委員会について

各委員会の活動について

メーキャップになるのか?

委員会と親睦会

■幹事報告 梶田竜司 幹事



①宮崎ロータリークラブ創立 70 周年記
念誌が創刊されました。購読されたい方
は事務局へお問い合わせください。

②秋田豪雨支援について国際ロータリ
ー第 2540 地区(秋田)より支援要請がありました。

③第 9 期 RLI2730 パートⅡが 10 月 1 日 9 時 15 分よ
り都城東高校で行われます。ご参加される方は宜し
くお願い致します。テキスト代 1,000 円、昼食代
1,000 円が必要です。

④8 月のロータリーレートは 141 円です。

■2022-2023 年度出席 100%達成表彰式



■各会員からの報告

○公共・奉仕プロジェクト委員会

勢井由美子 委員長



①会長からのご指導により、公共イメ
ージ奉仕プロジェクト委員会での親睦
活動、勉強会は、公共イメージ、奉仕プ
ロジェクト委員会のみとします。三回
ともクラブ全体にお声かけしましたことお許しくだ
さい。

②アフガニスタンコロキウムにつきましては、追っ
て皆様にお伝えし、盛り上げて参りますのでよろし
くお願いいたします。

③RLI 研修会が先日ありましたので、例会会場にお
られる方々にはテキストをご覧頂きました。

④ホームページ更新につきまして。

昨年度薬王寺直前会長時の 6 月最終分から更新でき
ずにあります。

例会で発表等をなされた方々からの文書(原稿)が集
まらないため更新出来ずにあります。

どうか、大地副委員長からお願いされている方々
は、お急ぎご対応お願いいたします。

○クラブ管理・増強委員会 安田文彦 委員長



1 出席報告について

会員数 40 名、本日欠席者数 15 名、
本日出席者数 25 名、出席率
62.50%

2 次回例会について

次回例会は 17 時 30 分からの開催になります。改
めてご案内をいたしますが、お間違いの内容にお願
いいたします。

■卓話 瀧 伸一 会員



保険は冒険から生まれた。



ピーター・バーンスタイン著『リスク 神々への反逆』によれば、リスクという英語が一般的に使われるようになったのは17世紀である。

その語源は、イタリア語の「Riscare（勇氣をもって試みる）」、また、ネリシャ時代からある「Risco 切り立った険しい岩壁」という言葉に由来するという。

リスクとは、元来人間が挑戦する姿、すなわち、運命より選択、チャレンジを意味している。

「経済的損失を発生させる不確実性」



リスクへの対応方法



住まいの保険(火災保険)について

住まいの保険	火災リスク	火災 落雷 破綻・爆発	
	風災リスク	風災 ひょう災 雪災	
	水災リスク	水災	
	盗難・水濡れ等リスク	盗難 水濡れ 建物の外部からの物体の衝突など	
	破損等リスク	上記以外の 偶発な破損事故 など	
地震保険	地震リスク	地震による倒壊 地震による火災 津波による発生	

保険の定義



日本における近年の自然災害による保険金支払額(金額順)

種類	発生年月日	災害名	区域 (主な被災地域)	支払保険金(億円)			
				火災・地震 保険	自動車 保険	海上 保険	合計
風水害	2018年9月	平成30年台風21号	大阪・京都・兵庫等 (関西圏全域)	9,363	700	535	10,679
	2019年10月	令和元年台風19号	東京市中心 (北関東圏等)	5,101	645	-	5,926
	1991年9月	平成3年台風19号	全国	5,225	269	105	5,600
	2019年9月	令和元年台風15号	関東中心(江ノ川流域)	4,398	258	-	4,656
	2004年9月	平成16年台風10号	全国	3,564	259	51	3,874
地震	2014年2月	平成26年2月関東・東北豪雨	関東中心	2,904	241	-	3,224
	2011年3月	東日本大震災	東京市中心	-	-	12,601	12,601
	2016年4月	熊本地震	熊本・大分	-	-	3,098	3,098
	2018年6月	大阪北部地震	大阪・京都	-	-	1,206	1,206
	1995年1月	阪神淡路大震災	兵庫・大阪	-	-	703	703
2018年9月	北海道胆振東部地震	北海道	-	-	517	517	

保険業界(生保・損保)の分類

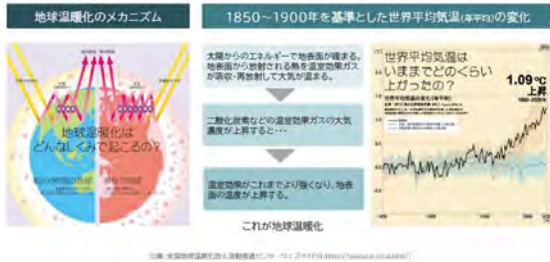


令和4年台風14号の被害(令和4年9月)

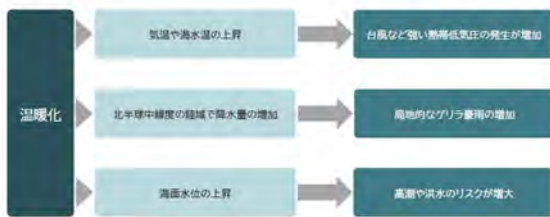
分類	箇所	金額 (単位:百万円)	
1	土木関係	1,476	36,454
2	農業関係	2,672	15,690
3	水産関係	-	1,230
4	森林関係	740	12,215
5	施工関係	870	2,569
6	文教関係	352	863
7	福祉関係	230	367
8	公共関係	150	795
合計		6,490	72,182

【注】家屋損 2,042棟(内訳:全壊9棟、半壊212棟、一部破損727棟、床上浸水208棟、床上浸水740棟)
 自動車関係の被害額は、令和4年9月17日までの集計による。集計中

地球温暖化と気象災害



地球温暖化による気象災害リスクの増大



森林火災 (2023年4月以降にカナダで発生した森林火災)



ハワイ・マウイ島の山火事 (2023年8月8日発生)



IPCC (気候変動に関する政府間パネル: Intergovernmental Panel on Climate Change)

WG3 第3作業部会による報告書(2022年3月)

【緩和策とSDGs-応答策】

緩和策とSDGs、緩和策と適応策の間にはシナジーが存在。一方、トレードオフも存在するが、適切な政策によって対処が可能。

緩和策だけを行うよりも、**SDGs-適応策と組み合わせる方が**より多くの削減機会を増やすことになる。また、社会的配慮を行うことが緩和策の受容性の向上につながる。

出典: IPCC AR6 Working Group III Contribution to the Sixth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change (2022)

温暖化と人間活動の影響の関係についての表現の変化

報告書	公表年	人為起源の気候変動影響についての評価
FAR	1990年	「気温上昇を生じさせるだろう」 人為起源の温室効果ガスは気候変化を生じさせる恐れがある。
SAR	1995年	「影響が全地球の気候に表れている」 顕著な人為的影響が全球の気候に表れている。
TAR	2001年	「可能性が高い」(66%以上) 過去50年に観測された温暖化の大部分は、温室効果ガスの濃度の増加によるものだった可能性が高い。
AR4	2007年	「可能性が非常に高い」(90%以上) 20世紀半ば以降の温暖化のほとんどは、人為起源の温室効果ガス濃度の増加による可能性が非常に高い。
AR5	2013～2014年	「可能性が極めて高い」(95%以上) 20世紀半ば以降の温暖化の主な要因は、人間活動の可能性が極めて高い。
AR6	2021～2022年	「疑う余地がない」 人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない(unequivocal)。

出典: IPCC Working Group I Contribution to the Sixth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change (2021)

「地球温暖化の時代は終わり、**地球制限の時代が到来した。**」
The era of global warming has ended, the era of global limiting has arrived.

人類は今、ゆでがえる状態

現在進行形の温暖化も直視を

米アリゾナ州では暑さによる死亡者数が急増している

出典: 日本経済新聞デジタル 2023年7月28日

SDGsに関する活動について

- SDGs経営導入のためのコンサルティング
- 各種SDGsワークショップ

SDGs (持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)

国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達成する行動計画です。
2030年に向けた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な
169のターゲットで構成されています。



出典:国連開発計画SDG

脱炭素・気候変動・環境SDGsワークショップ



脱炭素まちづくりカレッジとは、気候危機や脱炭素の基礎知識を身につけ、持続可能なまちづくりや地域づくりについて学ぶことができるカードゲーム型プログラム。

カーボンニュートラル、カーボンゼロ、気候変動、気候危機、地球温暖化、脱炭素、SDGs、などに興味関心がある方々におすすめです。



SDGs経営導入のためのコンサルティング



企業が、SDGs導入を進めるにあたり有効な手法として、「SDG Compass」の行動指針があります。
SDG Compass は、グローバル企業を前提に策定された経緯がありますが、国内企業でも SDG Compass のフレームワークは活用できます。
SDGs 導入プロジェクトの基本的な進め方として、積極的に活用されることが期待されています。
当社では、SDG Compass をベースとして、さまざまな中小企業に導入できるための実務的にアレンジしたコンサルティングサービスを提供しています。
SDG Compassとは、2016年3月にGRI(Global Reporting Initiative)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)の3団体が、企業のSDGs経営のために作成した導入手引書です。

出典:SDG Compass
資料提供:SDG Compass(©2019 GRI, UNGC, WBCSD) | SDG Compass 日本語版



SDGsワークショップ

ネクサスライフでは、3つのSDGsカードゲームを採用し、企業・団体・地域社会の皆さまにSDGsのさらなる浸透を促します。

- SDGsの本質を理解するカードゲーム(2030 SDGs)
- SDGsの考え方を地域活性化に活かすカードゲーム(SDGs de 地方創生)
- 事業を通じた社会課題解決を考える(SDGsアウトサイドイン)カードゲーム

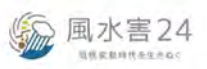


SDGsの本質理解を目的に開発された「2030SDGs」は20か国・20万人以上が体験しています。ニューヨークでの国際本部でも実施されました。

SDGsで地方創生を推進する「SDGs de 地方創生」は2019年度「サステイナブル」賞の受賞のブロードフォーカス賞(地域社会デザイン)を受賞しました。



脱炭素・気候変動・環境SDGsワークショップ



風水害24とは、大規模風水害の接近から直撃・通過までの24時間をリアルに体験することを通じて、風水害発生時に必要な知識を学び、適切な判断や行動ができるような、風水害リテラシーを高めるプログラムです。



SDGs未来都市

地方自治体に向けたSDGsの推進策について

GOALS

17の持続可能な開発目標 (SDGs) が示されています。

2. 国連「持続可能な開発目標」の推進

1. 国連「持続可能な開発目標」の推進

3. 国連「持続可能な開発目標」の推進

4. 国連「持続可能な開発目標」の推進

5. 国連「持続可能な開発目標」の推進

6. 国連「持続可能な開発目標」の推進

7. 国連「持続可能な開発目標」の推進

8. 国連「持続可能な開発目標」の推進

9. 国連「持続可能な開発目標」の推進

10. 国連「持続可能な開発目標」の推進

11. 国連「持続可能な開発目標」の推進

12. 国連「持続可能な開発目標」の推進

13. 国連「持続可能な開発目標」の推進

14. 国連「持続可能な開発目標」の推進

15. 国連「持続可能な開発目標」の推進

16. 国連「持続可能な開発目標」の推進

17. 国連「持続可能な開発目標」の推進

SDGsの推進に関する資料は、以下リンクからダウンロードいただけます。

SDGsの推進に関する資料は、以下リンクからダウンロードいただけます。



ハチドリ
ひとしずく



◎ 著：寺田 健児 『ハチドリひとしずく』 光文社 2005年



会報発行：公共・奉仕プロジェクト委員会
 副委員長 大地寛行
 宮崎アカデミーロータリークラブ
 事務局
 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4F
 TEL 0985-22-6767 FAX 0985-22-9170